



学友誌復刻版贈呈式

首里高校は戦前の沖縄においては県立第一中学校、いわゆるナンバーズクールとして、沖縄の教育をリードし、県内外で活躍する多くの人材を輩出しました。



その一中で編集・発行されていた学友誌『球陽』『学友会雑記』『養秀』が、この度『戦前期 沖縄一中 学友会雑誌集成』全八巻として復刻・刊行されることになりました。

6月24日(火)に養秀会館にて、刊行元の不二出版の船橋治会長、船橋竜祐社長と養秀同窓会の與儀毅会長より首里高校に書籍一式の寄贈がありました。

現在でも首里高校は那覇高校とともに、一中・二中の伝統を受け継ぎ、真の文武両道を実践しています。

今回の書籍の寄贈を受け、本校の歴史と伝統を受け継ぎ、未来を切り拓いていって欲しいと思います。

染織デザイン科産地研修



3年生はこれから卒業制作に向けて本格的な実習を重ねて行くこととなります。どの生徒も真剣な面持ちで研修を受けていました。ご多忙な中、研修を受け入れて下さった喜如嘉芭蕉布事業協同組合、琉球藍製造所の皆様にお礼申し上げます。

沖縄を代表する伝統的工芸「芭蕉布」や「琉球藍」の産地を訪ね、伝統的工芸品の制作や材料の製造に携わる人たちから直接講話を受け、体験することにより、今後の作品製作に向け貴重な知識を得ることを目的に、6月11日(水)に令和7年度「産地研修」が実施されました。

染織デザイン科3年生全員で、大宜味村喜如嘉と、本部町伊豆味を訪問し、喜如嘉芭蕉布事業協同組合の平良美恵子理事長、琉球藍製造所の伊野波盛功所長から研修を受けました。



修学旅行保護者説明会



本校の修学旅行は例年8割以上の生徒が参加するとともに、キャリア教育を取り入れた非常に有意義なプログラムです。ぜひ意義・目的を踏まえた上で主体的に参加して欲しいと思います。

6月30日(月)に2年生対象に修学旅行保護者説明会が開催されました。平日の夕方、非常に暑い体育館でしたが、多くの保護者が参加し、関心の高さがうかがえました。説明会では団長の金城順也教頭より、参加に向けて、学校徴収金等完納のお願いや全行程参加、航空機分乗などの説明がありました。

校内スピーチコンテスト

令和7年度校内英語スピーチコンテストが6月20日(金)の放課後にLL教室で開催されました。



2年生の宮城咲希さん(与那原中)、山里将太さん(南風原中)の司会の下、金城順也教頭の英語による激励のことばに始まり、ALTのキャメロン先生からの審査基準の説明のあと、8人の弁士が様々なテーマでスピーチを披露しました。

審査の結果、2年8組の村本秀仁さん(首里中)が1位、2年2組のウォッチョン美愛さん(西原東中)が2位、2年3組の平田菜乃華(南風原中)が3位となりました。

多くの職員・生徒もスピーチを聴きにきており、大変素晴らしい大会となりました。入賞者は9月にOIST(沖縄科学技術大学院大学)で開催される第60回全沖縄高校英語弁論大会に派遣される予定です。